

様式第 6 (第 1 1 条 関 係)

高 浜 市 ふ る さ と 応 援 交 付 金 実 績 報 告 書

7 年 4 月 11 日

高 浜 市 長 あ て

所在地 高 浜 市 碧 海 町 5 丁 目 1 番 地 2 4
事 業 者 団 体 名 高 浜 の 防 災 を 考 え る 市 民 の 会
代 表 者 名 早 川 弘 樹 印

令和 6 年 4 月 23 日 付 け ^{6 高 浜 政} 第 29-5 号 (及 び 年 月 日 付 け
第 号) で 交 付 決 定 の あ っ た 令 和 6 年 度 高 浜 市 ふ る さ と 応
援 交 付 金 に つ い て、当 該 交 付 金 の 交 付 の 対 象 と な る 事 業 年
度 が 終 了 し た の で、高 浜 市 ふ る さ と 応 援 交 付 金 交 付 要 綱 第
1 1 条 の 規 定 に よ り、下 記 の と お り 報 告 し ま す。

な お、こ の 報 告 書 及 び 添 付 書 類 の 内 容 に つ い て は、必 要
に 応 じ て 高 浜 市 ふ る さ と 応 援 交 付 金 交 付 要 綱 第 1 1 条 の
規 定 に よ り 公 表 さ れ る こ と を 承 諾 し ま す。

記

1 添 付 書 類

- (1) 事 業 報 告 書
- (2) 収 支 決 算 書
- (3) そ の 他 市 長 が 必 要 と 認 め る 書 類



(別紙 6)

事業実績報告書

事業の実施期間	令和6年 3 月 1 日 (月) から 令和7年 4 月 31 日 (月) まで		
事業の実施回数	年 6 回		
	6 月、7 月、8 月		
	9 月、11 月、12 月		
事業の実施時間	事業実施日の 13 時 00 分 ~ 17 時 00 分 まで 1 回当たり 4 時間 (延べ 115 時間)		
事業の参加人数	提案者 1 回当たり 10 人 (延べ 60 人) 一般参加者 1 回当たり 15 人 (延べ 90 人)		
事業の実施地域	高浜市、石川県 (輪島市・穴水町・かほく市)		
事業の対象者	受講生、保護者、市民他		
事業の具体的内容	「市民予算枠事業(協働推進型)提案書(実施計画書)事業概要書」で記載した、現状・課題の改善・克服・解決に向けて、どのような手段・方法をとったのかを具体的に記載してください。 * 今年度は、昨年度に比べ受講生の人数も増えて中学生 21 名、でした。 第 1 回講座、6 月 6 日 (日) たかびあ多目的室にて、13:00 より小中学生合同の開講式 (中学生 21 名、小学生 20 名、) を行いました。副市長はじめ各学校長、市議員や多数の来賓に出席のもと今年度の講座をスタートしました 防災・減災の基礎知識として地震の仕組みや、過去の災害の事例、高浜の被害想定等を話し、真剣にメモを取っていました。 2 限目は、外部講師 (アレルギー専門の防災士) に来ていただき避難所でのアレルギー対策の講座を行っていただきました。  		

第2回講座 7月7日（日）いきいき広場ホール 13:00～

- * 外部講師救急救命士による AED の実技や避難所での対応など
中学生リーダーは率先して AED の取り扱い、心肺蘇生を行い関心の高さが分かった。
- * VR 体験（市役所防災防犯 G）震度 7 はじめ様々な動きを体験した。



第3回講座 被災地訪問 7月27日（土）～29日（月）

石川県穴水町、輪島市

事業の
具体的内容

* 能登半島地震で大きな被害が出た地域を訪問し、穴水町では仮設住宅にお住いの皆様のところ（4か所）に訪問し発災当時の様子、行動などを生の声をお聞きしました。受講生は皆様の話を真剣に聞いていました。その後は少しでも気分の転換になればと、ボッチャをみんなでやり親睦を深めました。住民の方々も楽しそうにしていましたし、受講生も楽しんでいました。

輪島市に到着後大屋公民館館長さんにバスに同乗していただき、市内の被災状況を見て回りました。また、輪島市では避難所になっている大屋公民館を訪問し避難者の皆様の話を聞くことができた。当時最初に震度 5 の揺れが来た、その時に外に出ていたため本震で家の下敷きになるのを免れたなど生々しいお話を聞くことができた。



第4回講座 9月1日（日）高浜市総合防災訓練（各地域）07:30～
今年度は中止のため参加していません。

第5回講座 11月4日(月) いきいき広場ホール 13:00～17:00
災害時に私たちができることで第2回の講座で実施した。心肺蘇生術を中学生たちは、もう少し細かく全員が実施したいとの意見がありグループワークで実施した。AEDの使い方も全員が実技し興味を示し一人で何回も体験していた。



第6回講座 12月8日(日) 13:00～17:00 市役所会議棟
今年度最後の講座を実施した。受講生の大半が参加してくれた。過去の受講生が2年かけて制作した「高浜っ子防災かるた」を解説付きで行い参加者は楽しくゲームに熱中していた。



事業の
具体的内容

閉講式 16:00～

受講生一人ひとりに修了書を授与して今年度の講座を修了した。
次年度も講座に参加をしたいと思っていると中学生は言っていた。
災害時は、中学生の力が大変重要になってくるので多くの受講生が参加してくれることを願います。



OP 企画 11月24日(日) 10:00~15:00 高取小体育館
高取防災フェスに市民の会として応援参加、1ブースを提供いただき来場者に自分の地域のマイタイムラインの作成を指導した。
指導者は受講生の小学生リーダー、中学生リーダー7名が参加した。



事業の
効果
(具体的に)

【事業の対象地域・対象者にとって】

*今年度は、年初に能登半島地震が発災し東日本大震災以来の大災害となった。この地方でも南海トラフ地震の発生が危惧されている今日ではあるが、地域の人々はまだまだ意識が低いように思われる。「自分の命は自分で守る」ことを常に意識を持ってもらうようにしていきたいと思い今年度も小学生を対象に講座を開催、昨年よりも多くの子供たちが参加してくれた、受講生の地域も高浜市全域にわたっており大変良かった。

【提案者にとって】

今年度は、コロナ感染症5類移行から2年目を迎えた。まだまだ感染が多い中、昨年度よりも多くの受講生が応募してもらい大変良かった。

*防災士の資格を持つスタッフも増え、より良い講座が出来ることになりよかった。

【高浜市にとって】

高浜市では第7次総合計画の中で防災・防犯においてはマイタイムラインの普及を目指している中で、防災リーダーに普及できたことは大変良かったと思います。今後起きるとされている大災害に大きな力になってくれることを願っています。

完了報告書

役割分担の 適切性	協働推進型の実施において、提案者と事業担当Gの間における役割・責任分担について良かった点、あるいは改善すべきと感じた点があれば記載してください。		
	【良かった点】	【改善すべき点】	
	*昨年度よりも受講生が増えていたこともありスタッフ一同気合を入れて今年度望むことが出来た。	*現在防災士の資格を持つスタッフが4～5人いるため講座の役割分担をして負担の軽減に努めたい。	
実施にあたっての問題点(苦情・トラブル等)や苦勞した点	苦情、トラブル等はありませんでした。		
今後の方向性、具体的な方針・将来展望	☐ 拡大して継続 ☐ 縮小して継続 ☒ 現行どおり ☐ 終了する 今後、この事業をどのように取り組んでいきたいかという方向性や、積み残し課題・改善点などがあれば記載してください。 *実際に発災した時を想定した講座を今までになく充実した講座にして受講生を増やしていきたい。		
その他 特記事項			

(別紙 7)

収 支 決 算 書

(収入の部)

(単位：円)

区 分	計画額	決算額	差額	積 算 内 訳
1 交 付 金	1,000,000	786,519	△213,481	
2 その他の 収入	435,000	216,000	△219,000	第3回講座参加費 18名×12,000=216,000円
ふるさと応 援寄付金	157,000	350,000	193,000	2月 157,000円、6月 193,000 円
合 計	1,592,000	1,352,519	△239,481	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	計画額	決算額	差額	積 算 内 訳
1 事 業 費 講座前準備	57,000	24,775	△32,225	ボランティア活動保険 (6,750円) 中学生22名大人5名×250円 募集用紙&印刷代他 10,200円 郵便関係他 7,825円 詳細別紙
第1回講座 「防災・減災」	28,000	28,637	637	講座用資材 (2,237円) 会場費 1,365円、講師謝礼 20,000円 プリンター代 5,035円、詳細別紙
能登訪問の 打ち合わせ	70,000	121,607	51,607	レンタカー代 25,025円 ETC15,270円 宿泊代 65,600円 手土産代 6,574円 燃料費 9,087円その他 50円 詳細別紙
第2回講座 「防災・減災」	25,000	18,420	△6,580	テーブルクロス (講座用) 3,644円 講座用備品他 3,136円会場費 1,640円 講師謝礼 10,000円 詳細別紙
被災地訪問 最終打ち合 わせ	0	16,647	16,647	宿泊 5,900円、ETC5,820円 燃料代 4,664円その他 263円 詳細別紙
第3回講座 震災体験学 習」	1,180,000	766,424	△413,576	仮設住民との交流会啓発品 211個 (輪島 市・穴水町・珠洲市) 25,334円 雑費 6,471円名鉄支払い分 734,620円 詳細別紙
第4回講座	0	0	0	
第5回講座 「防災・減 災」	25,000	16,356	△8,644	ワークショップ資材 1,556円 次回講座用切手 2,750円 会場使用料 2,050 講師料 10,000円 詳細別紙
第6回講座 & 閉講式	50,000	7,211	△42,789	ワークショップ資材等 1,518円 修了書用紙 693円 講師料 5,000円 詳細別紙
他市防災 団体交流会	0	2,442	2,442	施設使用料 (たかびあ多目室) 660円 お茶代 1,782円
予備費	157,000	158,773	1,773	講座用 PC 購入 120,000円 貸倉庫賃貸料 38,773円

完了報告書

繰越金	0	191,227	191,227	
合 計	1,592,000	1,352,519	△239,481	

様式第3（第7条関係）

高浜市ふるさと応援交付金交付決定通知書

6 高総政第 29-5 号

令和 6 年 5 月 23 日

高浜の防災を考える市民の会

早川 弘樹 様

高浜市長 吉岡 初浩 印



令和 6 年 5 月 22 日付けで交付申請のあった令和 6 年度高浜市ふるさと応援交付金については、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第 7 条の規定により、下記のとおり交付することに決定しましたので通知します。

記

1 交 付 額 193000 円

2 交付条件

- （1）高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第 4 条 に規定する交付条件を遵守してください。
- （2）当該交付金の交付の対象となる事業年度が終了したときは、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱（以下「要綱」という。）第 11 条の規定により、速やかに高浜市ふるさと応援交付金実績報告書を提出してください。
- （3）この交付金の使途について不適当と認めるときは、交付決定した内容の全部若しくは一部を取り消し、又は既に交付した交付金の全部若しくは一部を返還していただく場合があります。